

室温における一酸化炭素の可逆的化学吸着反応の開発



目で見ると
海外論文発表

山内 泰宏*

Room-temperature reversible chemisorption of
carbon monoxide on Ni(0) complexes

Key Words : Carbon monoxide, Chemisorption, N-heterocyclic carbene,
Nickel carbonyl complex

<参加会議名>

29TH International Conference on Organometallic
Chemistry

<開催場所> プラハ (チェコ)

<渡航期間> 2022年7月15日~7月24日

<発表タイトル>

Room-temperature reversible chemisorption of
carbon monoxide on Ni(0) complexes

今回私は、チェコのプラハで開催された国際学会
29TH International Conference on Organometallic
Chemistry (29TH ICOMC) に参加し、ポスター発表
を行いました。本学会は、有機金属化学分野の研究
者の情報交換、国際連携の推進を目的として開催さ
れ、その発表内容は専門的な有機金属化学のみなら
ず、関連する有機合成化学、高分子化学、触媒化学
など、多岐に渡ります。また本学会は、約60年続
く歴史ある国際学会です。学会中込時、日本では新
型コロナウイルスが猛威を振るっており、海外渡航
できるか否か不透明でした。徐々に状況が落ち着き
渡航が決まった時には、安堵しました。現地では、
感染対策に細心の注意を払いながら、自身の発表や
他研究者の発表の聴講、国際交流を行いました。

ポスター発表では、「低原子価ニッケルを利用し
た室温における可逆的なCOの化学吸着反応」につ

いて発表を行いました。発表を通して数多くの貴重
な意見を頂くことができ、私自身の知識の幅や視野
を広げる良い機会となりました。また、世界的に著
名な研究者や新進気鋭の研究者達が交わす自由闊達
な議論を目の前にし、大きな刺激を受けました。対
面での学会参加の意義を改めて実感しました。この
経験を糧に、世界で活躍できる研究者を目指して今
後も研究に邁進したいと思います。

最後に、このような貴重な機会のご支援を賜りま
した生産技術振興協会に深く御礼を申し上げます。



プログラムの表紙

ポスター発表



* Yasuhiro YAMAUCHI

1993年1月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 応用化学
専攻 修士課程卒業 (2018年)
現在、大阪大学大学院 工学研究科 応
用化学専攻 博士後期課程2年
工学研究科 有機金属化学領域 生越研
究室 大学院生 修士
専門/有機金属化学
TEL : 080-6357-3817
E-mail : y_yamauchi@chem.eng.osaka-u.ac.jp



世界的に著名な Douglas W. Stephan 氏
(右から2番目) との写真